

2 ページ

Basic Information / 基本情報

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013年1月5日から2013年12月19日まで

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

11 member

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

- ・高松市教育委員会（後援）
- ・高松市内の10の小学校

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

173.04 \$ US dollar

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

NONE

Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

NONE

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

高松市に住み暮らす小学生と保護者（約10,000人）

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

JCI 高松は、地域社会に奉仕する ACTIVE CITIZENS を生み出すことを目的とする。

そのため以下を目的として事業を実施する

- (1) 地域の子供たちの道德意識に POSTIVE CHANGE を起こすこと。
特に、感謝の心・思いやりの気持ち・命の大切さ・MOTTAINAI 精神・UN MDGs を理解してもらうこと
- (2) 小学生に対し社会人が直接道德教育を行う継続的に実施可能なプログラムを構築し実践すること
- (3) 事業実施の中でメンバーの伝える能力が成長すること

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

JCI 高松では、2011年より小学生に対し社会人が直接道德教育を行うプログラムを構築し実施を行ってきた。2011年度、2012年度は、食育プログラムを中心に実施してきた。

3年目となる本年度は食育、徳育、MDGs 認知向上の3プログラムを構築した。構築したプログラムを実施するためのノウハウを LOM メンバー全体に伝えた。高松市教育委員会の支援を得て、地域の全ての小学校に PR を行った。メンバーが講師となり、地域の10小学校、のべ867名に対し15回にわたりプログラムを実施した。

【食育プログラム】※小学校2年生対象※

お米が生産されご飯として食卓に並ぶまでの過程を知り生産者や食事を作ってくれる親そしてお米自体の気持ちを考えることにより「感謝の心」「思いやりの気持ち」「命の大切さ」「MOTTAINAI 精神」を学ぶプログラムです。

【徳育プログラム】※小学校中学年対象※

多くの支えの中で生かされていることへの感謝と、つながりの中で自分がいることを認識し日本人であることの誇りを感じ、その上で自らの考えで地域を生み出す社会規範となる地域版「道しるべ」を創出し地域の徳目を顕在化させ道德教育を地域に根付かせる基盤を確立するプログラムです。

【MDGs 認知向上プログラム】※小学校高学年対象※

国際社会の一員として国連が掲げる国連ミレニアム開発目標達成に貢献するために JCI を通じた国連との協働運動への理解と参画意識を醸成するプログラムです。

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

高松市教育委員会の支援を得て、地域の全ての小学校に PR を行った。地域の10小学校、のべ867名に対し15回にわたりメンバーが講師となりプログラムを実施した。このことにより地域社会に奉仕する ACTIVE CITIZENS を効果的に増やすことができた。

・地域の子供たちの道德意識に POSTIVE CHANGE を起こした。

子供たちへのアンケートおよび聞き取り調査により以下の事項を確認した。

【食育プログラム】※小学校2年生対象※

子どもたちに「感謝の心」「思いやりの気持ち」「命の大切さ」「MOTTAINAI 精神」についての気づきを与えることができた。

【徳育プログラム】※小学校中学年対象※

子どもたちに「命のつながり」「地域とのつながり」についての気づきを与え地域の一人として自分たちなりの目標を作り ACTIVE CITIZENS の機会を JCI 高松によって得た。

【MDGs 認知向上プログラム】※小学校高学年対象※

子どもたちに「自分たちとアフリカの子どもたちとの違い」を認識させ国際社会の一員として現在から将来に渡って自分たちのできることを考え利他の精神を目覚めさせることができた。

・小学生に対し社会人が直接道德教育を行う継続的に実施可能なプログラムを構築し実践した

プログラムを構築した委員会メンバーだけが講師となるのではなく、オープン委員会において LOM メンバー全員に手法を伝え、実際に講師となった。このことによりプログラム構築にたずさわった者だけでなく、誰でも簡単な教育により、講師となってプログラムを実施できることが示された。

・事業実施の中でメンバーの伝える能力が成長すること

事業を通して、小学生にもわかるように伝えるための、平易で印象に残りやすいプレゼンテーションの方法をメンバーが修得することができた。

Actions Taken 行動

説明：

2013年1月5日～3月26日 事業構築（理事会および委員会で協議）

2013年3月26日 予算審議可決

2013年3月26日～6月10日 プログラムの詳細構築、シミュレーション

【実施前教育実践事業説明会】

2013年6月10日（月）19:30～21:00 オープン委員会

（LOM メンバー全員に対して、教育実践プログラムの内容及びファシリテーションの説明を行った）

2013年6月から11月にかけて、下記学校でプログラムを実施

【食育プログラム】 小学校8校（児童531名）

7月16日（火）仏生山小学校 11:25～12:10 ※3クラス同時実施（85名）

10月1日(火) 高松第一小学校 11:30~12:15 (101名)
10月10日(木) 前田小学校 10:35~11:20 (35名)
10月22日(火) 安原小学校 9:40~10:25 (25名)
10月29日(火) 香南小学校 9:35~10:20、10:35~11:20 (67名)
11月6日(水) 三溪小学校 9:25~10:10、10:30~11:15 (56名)
11月12日(火) 新番丁小学校 10:40~11:25 (124名)
11月27日(水) 川岡小学校 9:30~10:15 (38名)

【徳育プログラム】小学校4校(児童182名)

9月25日(水) 浅野小学校 9:35~10:20、10:40~11:25、11:35~12:20 (80名)
10月22日(火) 安原小学校 10:40~11:25 (11名)
11月13日(水) 三溪小学校 9:25~10:10 (39名)
11月27日(水) 川岡小学校 10:35~11:20、11:30~12:15 (52名)

【MDGs 認知向上プログラム】小学校3校(児童154名)

9月25日(水) 浅野小学校 10:40~11:25 (71名)
11月11日(月) 前田小学校 13:50~14:35 (46名)
11月25日(月) 庵治小学校 10:35~11:20 (37名)

2013年12月19日 理事会決算審議可決

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

【食育プログラム達成点】※小学校2年生対象※

子どもたちに「感謝の心」「思いやりの気持ち」「命の大切さ」「MOTTAINAI 精神」についての気づきを与えることができた。

【徳育プログラム達成点】※小学校中学年対象※

子どもたちに「命のつながり」「地域とのつながり」についての気づきを与え地域の一人として自分たちなりの目標を作り ACTIVE CITIZENS の機会を JCI 高松によって得た。

【MDGs 認知向上プログラム達成点】※小学校高学年対象※

子どもたちに「自分たちとアフリカの子どもたちとの違い」を認識させ国際社会の一員として現在から将来に渡って自分たちのできることを考え利他の精神を目覚めさせる

ことができた。

【事業全体の達成】

・子ども達から JCI 高松メンバーに多くの手書きのお礼の手紙、食べ残しがなくなった写真が教師より送られてきた。

部門 Long term Local Community program

3 ページ

Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

What were the long term objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい

JCI 高松は、地域社会に奉仕する ACTIVE CITIZENS を生み出すことを目的とする。

そのため以下を目的として事業を実施する

(1) 地域の子供たちの道徳意識に POSTIVE CHANGE を起こすこと。

特に、感謝の心・思いやりの気持ち・命の大切さ・MOTTAINAI 精神・UN MDGs を理解してもらうこと

(2) 小学生に対し社会人が直接道徳教育を行う継続的に実施可能なプログラムを構築し実践すること

(3) 事業実施の中でメンバーの伝える能力が成長すること

3つのプログラムでは、以下を目的とした。

【食育プログラム】※小学校2年生対象※

子供たちが「感謝の心」「思いやりの気持ち」「命の大切さ」「MOTTAINAI 精神」を学ぶこと。

【徳育プログラム】※小学校中学年対象※

子供たちが、多くの支えの中で生かされていることへの感謝と、つながりの中で自分があることを認識し日本人であることの誇りを感じることを。

【MDGS 認知向上プログラム】※小学校高学年対象※

子供たちが、国際社会の一員として国連が掲げる国連ミレニアム開発目標達成に貢献するために JCI を通じた国連との協働運動への理解と参画意識を持つよう POSITIVE CHANGE すること。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように J C I の活動計画と合っていますか？

食育・徳育プログラム教育を成長過程の小学生に対し行うことにより「感謝の心」「思いやりの気持ち」「命の大切さ」「MOTTAINAI 精神」を広め前向きな変化を起こす為の成長の機会を提供する。

MDGs 認知向上プログラム教育を行うことにより 8 つの国連ミレニアム開発目標によって定義された史上最大世界的困難の時代を理解していただくことでソリューション・プロバイダーとなる。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

理事会での討議、協議、審議の 3 プロセスでの予算審議を経て、実施前に 6 3 0 \$ US dollar の予算を定めた。

予算は主に小学生への配布資料の印刷費のために使われた。

決算では 4 8 校のプログラム実施予定から 1 2 校のプログラムの実施となった為、4 5 6 . 9 6 \$ US dollar の差異が発生した。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、J C I のミッションと、ヴィジョンを推進しましたか？

ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

【JCI MISSION】

・この事業を実施する事で地域の子供達の意識を POSITIVE CHANGE する機会を提供した。
・この事業を実施する事でメンバーのプレゼンテーション能力を向上した。

【JCI VISION】

・この事業を実施する事で地域の子供達が地域に奉仕する ACTIVE CITIZENS となった。
・高松市教育委員会や各学校とのネットワークを構築した

ページ 4

By number,how many members were involved in this program?

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください

1 1 member

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOM メンバーの参加率は、何パーセントですか？%で記載してください

80 / 112 名 参加率 71.4%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

- A) 事業構築
- B) 予算管理
- C) コーディネーター（パワーポイントを使用しての事業説明・教育）
- D) ファシリテーター（ワークシート記入時の小学生へのサポート・教育補助）
- E) 高松市教育委員会、各学校への PR および交渉

ページ 5

Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？

- A) 教育委員会・高松市内小学校とのタイアップ事業として実施。結果、協働関係のネットワーク構築につながった。
- B) 受講者が積極的に心を通して学びを得られるようなプログラムとして構築しすべてのことに感謝できるやさしい心もった児童の育成につなげた。
- C) 行政との連携でさらなるローカルプロジェクトへの取り組みの機会を創出するように取り組んだ。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください

- A) 教育関係者との関係構築で次なるプログラムの協働開発につながった。
- B) 地域の小学校の問題にダイレクトにつながる事業プロジェクトの計画につながった。
- C) 本事業での行政との連携で教育体験事業を実施し、さらなる子どもたちの学びの機会を創出出来た。

ページ 6

Impact on Local Organization LOMへの影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？

- A) 地域の未来を担う子供たちの教育について、学校現場に任せるだけでなく、地域社会の一員として未来の地域リーダーの育成に関わっていく。
- B) 小学校で子供たちに説明をすることでメンバーのプレゼンテーション能力がアップした。
- C) 各小学校で小学生や教職員と対話することで、各地域の教育問題に触れる事が出来次なるプロジェクト構築への課題を見出すことが出来た。

How did the program advance the JCI Mission?

どのようにJCIミッションを推進したのか？

・この事業を実施する事で地域の子供達の意識を POSITIVE CHANGE する機会を提供した。
・この事業を実施する事でメンバーのプレゼンテーション能力を向上した。

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか？

JCI 高松のメンバー・市民・教育関係者が参加することによりローカルネットワークが構築された。

道徳教育に関心を持った子ども・市民を育成することができた。将来的に地域のためにその人達が ACTIVE CITIZENS として行動することにより地域の発展がおこなわれる。

次年度以降、LOM メンバーだけでなく、地域のボランティアを参加させることで、運動がさらに広がっていくことが期待できる。

現在、文部科学省では学校の授業の中で、社会人とのコラボレーションによる授業を行う計画が進められている。将来的にこの事業の成果が授業の選択肢の一つとなることが期待できる。

What changes Would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

JCI 高松のメンバーに事前に協力依頼を早めに周知すること

地域団体、学校等と連携を密に取り学校ではできないことをLOMメンバーが積極的に提案していくこと。

LOM メンバーだけでなく、地域のボランティアを巻き込むことで、運動を大きなものとしていくこと。